



公益財団法人

群馬健康医学振興会のご案内

Gunma Foundation for Medicine and Health Science



【ロゴマーク】群馬県のシンボルである利根川の流れと上毛三山のイメージ並びに群馬健康医学振興会（GFMHS）の公益目的三事業（1：研究助成、2：学術集会等助成、3：書籍発刊）を融合し3色で表現しました。県下の保健、医療及び福祉等に寄与する当財団の理念を表しています。

理事長挨拶

群馬健康医学振興会は群馬大学医学部同窓会・刀城クラブによって1979年に設立され、「県民の健康増進に係る公益事業の推進」を理念として掲げて実践して参りました。一般社団法人医学部医学科同窓会刀城クラブが同窓生相互の親睦と母校群馬大学医学部の発展および学術研究の向上を目的として掲げるのに対し、当振興会は刀城クラブの社会貢献部門としての性格を持つ団体であり、社会に対する公益性のある活動を本務としております。具体的には（１）研究助成、（２）学術集会等助成、（３）書籍発刊を公益目的三事業として実施しております。これらの事業は賛助会員の会費、個人寄附金、収益目的事業収入などによってその運営が支えられています。当振興会のさらなる発展に向けて役職員一同努力をいたしますので、今後とも皆様方の温かいご理解とご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。（令和8年6月記）



公益財団法人
群馬健康医学振興会
理事長 中里 洋一

財団設立とあゆみ

昭和27（1952）年に設立された群馬大学医学部同窓会・刀城クラブは会員数の増加に伴い、活動の活性化・多角化をはかるべく法人格を取得することになりました。そこで昭和54（1979）年、保有する資金の一部を基本財産として拠出し、公益事業を推進するための「財団法人群馬健康医学振興会」設立を申請して、群馬県知事の認可を受けました。いらい財団は県下の自治体、諸団体が開催の講演会等と同窓生を講師として派遣し、また健康医学ガイドシリーズの書籍発刊などの活動を行ってきました。法人法の改正に伴い平成24（2012）年には一般財団法人に移行し、さらに平成27（2015）年に公益財団法人として認定されました。公益事業の拡充として平成22年度からは研究費助成、さらに令和2年度からは海外留学費助成を開始しており、また収益目的事業として医師賠償責任保険の委託集金事務を行っております。令和3年および令和4年には同窓生からの大型寄附を受け、公益目的事業の大幅な拡充を図ることができました。今後も県下の保健、医療および福祉の充実のため地域の健康づくり事業に邁進してまいります。

財団の事業

1. 研究助成

①研究費助成

群馬県内に研究拠点が有り、県内およびその関連施設に勤務する医療従事者、保健・医療・福祉関連職、教員、大学院生、研究者、団体等を対象に、当財団の趣旨に沿った研究または事業活動に対して公募のうえ選考を行い、研究助成金を交付します。A、Bの2コースあり、毎年度それぞれ5件の募集を行います。

Aコース：医学および保健学領域の基礎的、臨床的研究。1件50万円

Bコース：医学医療系、社会医学系、福祉・介護系の研究。1件30万円



②海外留学費助成

群馬県に在住、在学、勤務する医学、医療及び福祉領域の従事者、若しくは将来群馬県の医学、医療及び福祉の発展に寄与する者に対して公募のうえ選考を行い、毎年度各1件の海外留学費用を助成します。

短期留学：2年未満の短期留学者、1件100万円

長期留学（神部記念海外留学奨励賞）：2年以上の長期留学者、1件500万円

2. 学術集会等助成

①学術集会等寄附金募集

県民の健康増進を目的とした医学、医療、福祉に関するセミナー、研究会、学術集会、学会、公開講座、ワークショップ等の開催に対して寄附金募集を通じて主催者を支援するものです。この支援を通じて主催者は寄附金募集の事務作業を大幅に削減でき、また寄附者は寄附金に対して租税特別措置法による免税措置を受けることが出来ます。助成金額は当財団が募集した寄附金の95%を上限とします。



②学術集会等開催費助成

群馬県内で開催される医学、医療、保健、介護等に関する学会、研究会、講演会などに対して開催費用の助成を行います。毎年度2回の公募を行い、選考の上、各年度12件以内の開催助成金(1件5万円)を交付します。

3. 書籍発刊

群馬健康医学振興会では健康づくりに役立つ書籍を独自に発刊しています。これは「健康医学ガイド」と称し、すでに7巻がシリーズとして刊行されました。この書籍を通じて当財団が収集した最新の医療情報や医学の進歩について広く県民、地域住民の皆様知って頂き、健康づくりに役立てていただくことを目的としています。この書籍は冊子体として地域の病院、学校施設、行政、医師会、当財団賛助会員などに無償頒布しています。また一部はオンライン版としてホームページ上で公開しています。



健康医学ガイド1
主治医のアドバイス



健康医学ガイド2
わが家のドクター



健康医学ガイド3
健康づくり百科
—からだと生活と環境—



健康医学ガイド4
続・主治医のアドバイス
—こんな時どうする?—

「肥満と疾患—どこまで解明されたか?—」

<https://gfmhs.jp/foundation/guide6.pdf>



「循環器病～知る・治す・予防する～」

<https://gfmhs.jp/foundation/guide7.pdf>



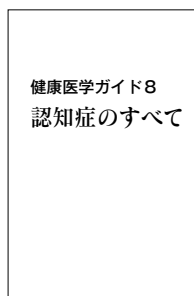
健康医学ガイド5
重粒子線—切らずに治すがん治療と医療最前線—



健康医学ガイド6
肥満と疾患—どこまで解明されたか?—



健康医学ガイド7
循環器病
～知る・治す・予防する～



健康医学ガイド8
認知症のすべて



4. 医師賠償責任保険委託契約

本保険は医師が医療事故等により損害賠償責任を負った場合に補償するもので、三井住友海上火災保険株式会社(代理店:株式会社北栄)が引き受けを行います。現在2,200名ほどの医師がこの保険に加入しており、保険料は団体割引の適用を受けて20%割安となっています。本保険への加入により、医師は安心して医療業務を遂行できる環境を整えることができます。当財団は保険加入者に対する保険料集金事務を担当していますので、保険加入のご希望がありましたら財団事務局にお問い合わせください。



賛助会員の募集



当財団は、昭和54（1979）年設立以来、関係各位のご支援・ご協力のもと県下の保健、医療及び福祉等に寄与すると共に、地域の健康づくりに多大な貢献を果たしてきました。これからも当財団の役割である研究助成、学術集会等助成、書籍発刊等の公益事業に鋭意務め、地域の健康づくりを推進する所存です。

財団の事業推進と拡充のため多くの方々に賛助会員となっていていただき、財団の運営が支えられております。賛助会員の年会費は、個人1口5千円、法人1口5万円です。お預かりした会費の65%を公益目的事業に充て、残り35%は財団の運営に活用させて頂いております。当財団に納入頂いた会費又は寄附金は「租税特別措置法」の規定により、個人の場合は所得控除又は税額控除、法人の場合は損金に算入することができます。賛助会員申込みについては当財団のホームページをご覧ください。

財団の沿革

年	主 な 沿 革
昭和54（1979）年	群馬大学医学部同窓会により「財団法人群馬健康医学振興会」が設立される。県内の健康医学講演会への講師派遣並びに書籍出版事業を開始
	初代理事長 米津 穆 就任
昭和63（1988）年	健康医学ガイド1『主治医のアドバイス』発刊
	第二代理事長 金沢義一 就任
平成5（1993）年	健康医学ガイド2『わが家のドクター』を発刊
平成8（1996）年	健康医学ガイド3『健康づくり百科一からだと生活と環境』を発刊
平成9（1997）年	第三代理事長 奈良純夫 就任
平成13（2001）年	健康医学ガイド4『続・主治医のアドバイス』を発刊
	第四代理事長 饗場庄一 就任
平成19（2007）年	第五代理事長 後藤文夫 就任
平成21（2009）年	第六代理事長 山中英壽 就任
平成22（2010）年	健康医学ガイド5『重粒子線一切らずに治すがん治療と医療最前線』を発刊
平成24（2012）年	一般財団法人に認可
平成25（2013）年	第七代理事長 森川昭廣 就任
平成27（2015）年	公益財団法人に認定
平成29（2017）年	健康医学ガイド6『肥満と疾患：どこまで解明されたか？』を発刊
平成30（2018）年	第八代理事長 鈴木 忠 就任
令和4（2022）年	健康医学ガイド7『循環器病～知る・治す・予防する～』を発刊
令和6（2024）年	第九代理事長 中里洋一 就任

理事・監事・顧問及び評議員

役職名	氏 名	勤 務 先 等
理 事 長	中里 洋一	群馬大学名誉教授
常務理事	村上 正巳	群馬大学名誉教授
	石塚 全	くすの木病院内科診療部長
理 事	木谷 泰治	医療法人中沢会上毛病院
	長嶋起久雄	独立行政法人群馬中央病院外科
	飯野 佑一	群馬大学名誉教授
	白倉 賢二	群馬県済生会前橋病院リハビリテーションセンター長
	大島 茂	群馬県立心臓血管センター顧問
	斎藤 龍生	渋川医療センター名誉院長
	長谷川正俊	日高病院腫瘍センター長
	池田 史子	日高病院眼科部長
監 事	村上 博和	群馬医療福祉大学医療技術学部教授・学部長
	土橋 邦生	上武呼吸器科内科病院長
顧 問	森川 昭廣	社会福祉法人希望の家付属北関東アレルギー研究所顧問
評 議 員	横江 隆夫	国立病院機構渋川医療センター特命診療顧問
	猿木 和久	さるきクリニック理事長
	宮久保純子	宮久保眼科理事長
	渡邊 秀臣	高崎健康福祉大学保健医療学部部長・理学療法学科教授
	小山 洋	公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院
	山田 正信	群馬大学名誉教授

公益財団法人群馬健康医学振興会

住所：371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目 39-22 群馬大学医学部刀城会館内

Tel：027-220-7873 Fax：027-235-1470

Mail：gfmh0@googlegroups.com URL：https://gfmhs.jp/